

◎特別法人事業税について

1.適用

令和元年10月1日以後に開始する事業年度の申告に適用されます。  
(特別法人事業税は、国税ですが、法人事業税と併せて都道府県への申告納付が必要となります。)

2.納める人

法人事業税(所得割・収入割)の納税義務のある法人

3.課税標準

法人事業税額(標準税率により計算した所得割額・収入割額)

※小売電気事業等・発電事業等・特定卸供給事業は、収入割額のみが対象となります。

4.納める額

特別法人事業税額 = 法人事業税の所得割額又は収入割額(税額) × 特別法人事業税の税率

●税率

| 課税標準の区分   | 法人の種類                            | 税率(%)                |                     |                     |
|-----------|----------------------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
|           |                                  | R1.10.1以後<br>開始事業年度分 | R2.4.1以後<br>開始事業年度分 | R4.4.1以後<br>開始事業年度分 |
| 法人事業税所得割額 | 外形標準課税法人以外の普通法人等                 | 37.0                 |                     |                     |
|           | 特別法人                             | 34.5                 |                     |                     |
|           | 外形標準課税法人(資本金の額又は出資金の額が1億円超の普通法人) | 260.0                |                     |                     |
| 法人事業税収入割額 | 下記以外の収入金額課税対象法人                  | 30.0                 |                     |                     |
|           | 小売電気事業等・発電事業等・特定卸供給事業を行う法人       | 30.0                 | 40.0                |                     |
|           | 特定ガス供給業を行う法人                     | 30.0                 |                     | 62.5                |

※令和4年4月1日以後終了する事業年度分より、特定卸供給事業を行う法人は上記表のとおり。